

環境の世紀 16 ～環境問題を多面的にとらえる～

担当教員 飯田誠 (東京大学先端科学技術研究センター特任准教授)

企画立案 東京大学 環境三四郎

1. 講義の概要

この講義は、東京大学の学生環境サークル「東京大学 環境三四郎」が担当教員のアドバイスをを受けて企画・立案し、運営する講義です。私たちは、この講義を企画するにあたり、環境問題に関連する研究者や NGO の方など、色々な立場の人にお会いし、環境問題についての様々な意見を知りました。さまざまな意見を直接聞き、それを他の情報・意見と比較したり、そのことについて議論を交わしたりしました。

環境問題がメディアなどで取り上げられる際、環境問題は様々な事象が複雑に絡み合っているにもかかわらず、ある一つの事象についてある一つの視点から考察を加える場合が多いと思います。多種多様な環境問題についての情報を見極めるために、様々な考え方を知り、自分でその正誤やそのような情報が発信されるまでのプロセスを分析することが必要であると私たちは考え、そのスキルを「眼力」と定義しました。

この授業の目標は、環境問題を一つの視点から見のではなく、色々な視点から見た考え方に触れたり、人間の営みや、私たちの常識の根本となっているものは何かということ問い直したりしながら、「眼力」を養い、使いこなせるようになる、というものです。

講義は 2 部構成で、前半は様々な題材を用いて「眼力」を養い、後半では生物多様性を題材として、実際に「眼力」を使う機会を提供します。

2. 講義形式および成績評価

研究者・有識者などをお招きした講義形式の授業と、グループワーク・ディスカッションなどの学生が主体的に参加する授業から構成されます。

成績評価については、平常点と、レポート提出により行います。

※お知らせ

環境三四郎では、今回の講義「環境の世紀 16 ～環境問題を多面的にとらえる～」の Web ページを作成いたしました。次回講義についての連絡のほか、講義資料の配布など、講義後の更なる学習に役立つコンテンツを掲載していく予定です。ぜひご覧ください。

アクセスは環境三四郎トップページ <http://www.sanshiro.ne.jp> から。

3. 講義予定

前半「眼力を養う」

- 10月19日 交通手段をどのように選択するのか
森 俊介 (東京理科大学理工学部経営工学科 教授)
- 10月26日 LCA の考え方と特徴
内山 洋司 (筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授)
- 11月2日 人の営みと自然
内山 節 (立教大学文学部・大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授)
- 11月9日 異視点から考える環境問題
下田 正弘 (東京大学大学院人文社会系研究科 教授)
- 11月16日 環境問題に関するロールプレイング

後半「眼力を使う」

- 11月30日 生物多様性概論
鷺谷 いづみ (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)
- 12月7日 遺伝資源へのアクセスと利益配分について
小林 邦彦 (国際青年環境 NGO A SEED JAPAN 2010 年度共同代表)
- 12月14日 生物多様性保護活動の実際
樋口 広芳 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)
- 12月21日 COP10 報告
大久保 彩子 (東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員)
- 1月11日 グループワーク (1)
- 1月18日 グループワーク (2)
- 1月25日 総括
鬼頭 秀一 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)

文責：環境三四郎「環境の世紀16」プロジェクト
お問い合わせは info@sanshiro.ne.jp まで。